

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008広第122号	
事故等名	貨物船第三金生丸座洲	
発生年月日時刻	平成20年8月6日13時00分ごろ	
発生場所	広島港 江波太陽シャーリング岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月11日 広島・地方事故調査官が海難報告書を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実	貨物船 第三金生丸 191トン	
船種・船名・総トン数	134072	
船舶番号	個人所有	
船舶所有者等		
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、鋼材600トンを積載して広島港向け出港し、広島港沖に到着して荷役待機のため、左舷錨を投錨して錨泊した。その後抜錨し、船首2.8m、船尾3.7mの喫水をもって、広島港内江波太陽シャーリング岸壁に接岸のため、同岸壁付近を微速で航行中、平成20年8月6日13時00分ごろ、船底が浅所に接触した。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、港内の浅所状況の確認等の水路調査を十分に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が接岸するにあたり、水路調査を十分に行わなかったため、浅所に底触したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	